

概要

ソーシャル・ビジネスは、利益を最大化するビジネスとともに正当な地位を得ることができるだろう。第8章では、ソーシャル・ビジネスの概念や市場における消費者選択等を挙げ、ソーシャル・ビジネスが繁栄するにつれて起こるだろう現象について説明する。

【現実のソーシャル・ビジネスを創設すること】

☆ ソーシャル・ビジネスとして眼科病院を設立

グラミン・ヘルスケア・トラスト (GHT) : 非営利企業  
寄付者と投資家の資金が集められる  
グラミン・ヘルスケア・サービス (GHS) : 営利企業  
グラミン企業が直接投資している

☆ グラミン財団によるソーシャル・ビジネス

- ① グラミン・キャピタル・インド
- ② グラミン-ジャミール・パン・アラブ・マイクロファイナンス

【誰がソーシャル・ビジネスに投資するのか？】

- ・ 裕福な人々からの個人拠出 → 出資金は返済され、企業の所有権を保有する
- ・ 財団 → お金を有効に再利用できる
- ・ 営利の貸出機関 → ソーシャル・ビジネスがもたらす良い評判の恩恵に与る

【グラミン・ダノンへの融資】 —エマニュエル・ファベルの挑戦

社会的目標を持つ企業に融資するという難問



「ハイブリッド」のビジネスモデルのアイデア



解決策

特別な使命を持つ投資信託会社を創設し、  
ダノンの株主たちに参加するオプションを与える

◎S I C A Vダノン・コミュニティーズ

(可変資本投資会社ダノン・コミュニティーズ・ファンド)

→既存の証券市場を通してソーシャル・ビジネスに投資する革新的な方法

★逼迫した問題を解決するために自分の才能を使いたいと切に願っていたのに、そうするための制度上の承認が得られなかった世界中の何百万人もの人々の、鬱積した創造性を解き放つコンセプト

【ビジネスを評価する新しい基準】

- ◇ 将来、SBは {
  - ・利益を最大化するビジネスとともに正当な地位を得る
  - ・PMBと同じ市場空間で取引される}

消費者…社会的価値を考えて、購買を決定

一部企業…社会的責任を使ったマーケティング戦略を利用

← 問題が！

企業に対して社会的責任のもとで作られる、

製品の評価やテスト、主張を守らせるシステムが不足

↓ 解決策として…

- {
  - ・SBが打ち出した社会的便益に関する主張を監視するための会社や法人の創設
  - ・SBのさまざまな点を保証することになる専門的な格付け機関の創設}

◇ PMBの監視システムとして…

- {
  - ・グローバル・レポートング・イニシアチブ (GRI)
  - ・調査会社アセント4
  - ・HIP採点表}

→新しいSBの評価システムの参考になるかも？

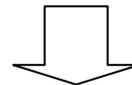
→独自の監視システムを設計する必要性

【税金と規制の問題】

◇ SBが増えるにつれ、政府に財政上の優遇措置を要求する可能性も…

BUT!

( ×税額控除を制定するかどうか依存  
◎よりよい世界を形成したい、内なる衝動の実現 ) ⇒ 税制の設計に着手するには、  
SBについて具体的な定義を設定



- SB とは
- SB の資格の基準
- PMB が SB に転換するために必要な要素
- SB と非営利団体の区別

☆ 利益の届け違いが起きる  市場のセグメンテーションが必須

#### 【ソーシャル・ビジネスと世界の変化】

SB の領域の発展を支える金融メカニズムや指標が生まれる

Ex) ソーシャル・ストック市場、ソーシャル・ダウ・ジョーンズ・インデックス etc...

またビジネス教育としても SB 経営の原則は重要な部分になる

#### 【ファンタジー以上のもの】

ユヌスは、可能にするための社会と経済の構造が欠けているだけで、

ほとんど人々は SB と SB の世界を変える可能性に興奮するようになると確信

☆ SB の存在…お金とは関係ない動機が、人間を動かす重要な要因

《新たなソーシャル・ビジネスの領域では

貧しい人々自身が企業家精神という素晴らしい才能を表現できる》